

1. 科目名 (単位数)	スクールソーシャルワーク実習指導 (1単位)	3. 科目番号	SSMP3488
2. 授業担当教員	大門 俊樹		SCMP3488
4. 授業形態	講義、演習	5. 開講学期	秋期
6. 履修条件・他科目との関係			
7. 講義概要	(1) スクールソーシャルワーク実習の意義について理解する。(2) 学校現場を知り、学校組織について体験的に学ぶ。(3) スクールソーシャルワーク実習に関わる個別指導や集団指導を通して、学校におけるソーシャルワーク実践に必要な知識と技術について具体的に理解し、実践的な技術を身につける。(4) 教育現場でのソーシャルワーク実践を行う社会福祉士として求められる資質、技能、倫理、教育課題に総合的に対応できる能力を身につける。(5) 具体的体験や援助活動を専門的援助技術として概念化・理論化・体系化していくことができる能力を身につける。(6) 既存の実践現場ではなく、新たな実践現場に入っていき意義を十分に理解し、開拓の視点を身につける。		
8. 学習目標	スクールソーシャルワーク教育課程で学んだ内容をもとに、学校現場等での実習を通して、学校現場が抱える多くの課題にソーシャルワークの視点から対応できるようになる。特に、新たな実践現場である学校組織をよく知り、教員との連携はもとより、保護者や関係機関、地域との連携まで視野に入れた実践が展開できる能力も身につけることを目指す。		
9. アサインメント (宿題) 及びレポート課題	(1) 授業期間中に、学校または子ども支援に関する施設へボランティアとして行き、フィールド体験を行うとともに、その内容と成果についてレポートにまとめる。(2) 実習校への事前訪問を行い、その内容について報告する。(3) それ以外の課題については、授業中に指示する。		
10. 教科書・参考書・教材	【教科書】 門田光司・鈴木庸裕『ハンドブック・学校ソーシャルワーク演習～実践のための手引～』ミネルヴァ書房、2010。 【参考書】 米川和雄編著『スクールソーシャルワーク実習・演習テキスト』北大路書房、2010。 門田光司・奥村賢一『スクールソーシャルワーカーのしごと 学校ソーシャルワーク実践ガイド』中央法規、2009。 日本学校ソーシャルワーク学会『スクールソーシャルワーカー養成テキスト』中央法規、2008。		
11. 成績評価の規準と評定の方法	○成績評価の規準 1) スクールソーシャルワーク実習の意義について理解し、説明できるか。 2) 学校現場を知り、学校組織について体験的に学び、説明できるか。 ○評定の方法 授業への積極的参加度、日常の受講態度、レポート等を総合的に評価する。 1 授業への積極的参加 総合点の20% 2 レポート 総合点の50% 3 フィールド体験とそのレポート 総合点の15% 4 実習校への事前訪問及びその内容報告 総合点の15%		
12. 受講生へのメッセージ	1. 本授業の受講については次の点が前提となる。 ・3年次にソーシャルワーク実習を終了していること。 ・社会福祉士または精神保健福祉士の国家資格取得に向けて十分な学習をし、基本的知識と技術を備えていること。 ・スクールソーシャルワーク実習に行く準備をしていること。 2. 欠席・遅刻・早退をしないこと。 3. 授業中は携帯電話やPHS等の電源は切り、私語・居眠りは慎み、常に緊張感と集中力を保つこと。 4. 授業態度が悪いと判断された際は、厳格な指導を行う。指導後も改善が見られないときは、F評価とする。 5. 授業での積極的な取り組みを評価するので、グループディスカッションや意見の発表時には間違いを恐れず、恥ずかしがらずに前に出ること。 6. 授業中に指示された課題の提出期限は厳守すること。		
13. オフィスアワー	最初の授業で発表する。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	オリエンテーション (内容・進め方・評価方法・スクールソーシャルワーク実習について)	事前学習	スクールソーシャルワーク実習のイメージをした上で授業に臨む。
		事後学習	スクールソーシャルワーク実習についてわかったことをまとめる。
第2回	実習の心構えと準備①	事前学習	「なぜ実習に行くのか」について考えた上で授業に臨む。
		事後学習	スクールソーシャルワーク実習の特性についてまとめる。
第3回	実習の心構えと準備②	事前学習	実習の流れについて理解した上で授業に臨む。
		事後学習	実習前に身に付けておくべき事項をチェックした上で、どのようにして身に付けるか考える。
第4回	実習課題の設定	事前学習	自分の実習課題について考えた上で授業に臨む。
		事後学習	スクールソーシャルワーカーの配置形態別内容についてまとめる。

第5回	実習記録と記録方法、スクールソーシャルワーカーとしての資質	事前学習	実習記録と記録方法について理解した上で授業に臨む。
		事後学習	スクールソーシャルワーカーとしての資質について確認し、どのようにしてそうした資質を身に付けるか考える。
第6回	スクールソーシャルワークの支援方法1 (スクールソーシャルワークの目的、支援方法、アセスメント)	事前学習	テキスト第2章の pp. 18~42 を熟読し、要点をまとめる。
		事後学習	アセスメントシートの記入方法を理解する。
第7回	スクールソーシャルワークの支援方法2 (ジェノグラム・エコマップ・子どもの支援計画)	事前学習	テキスト第2章の pp. 42~53 を熟読し、要点をまとめる。
		事後学習	ジェノグラム・エコマップを描いてみる。
第8回	不登校の子どもたちへの支援1	事前学習	テキスト第3章の pp. 54~65 を熟読し、要点をまとめる。
		事後学習	不登校の子どもたちの支援についてまとめる。
第9回	不登校の子どもたちへの支援2	事前学習	テキスト第3章の pp. 65~71 の事例をよく読み、アセスメントシートを作成してみる。
		事後学習	p. 70 の「支援の振り返り」を考える。
第10回	児童虐待を受けている子どもたちへの支援1	事前学習	テキスト第3章の pp. 71~79 を熟読し、要点をまとめる。
		事後学習	児童虐待を受けている子どもたちへの支援についてまとめる。
第11回	児童虐待を受けている子どもたちへの支援2	事前学習	テキスト第3章の pp. 79~89 を熟読し、要点をまとめる。
		事後学習	p. 89 の「支援の振り返り」を考える。
第12回	非行の子どもたちへの支援1	事前学習	テキスト第3章の pp. 90~101 を熟読し、要点をまとめる。
		事後学習	p. 101 の「支援の振り返り」を考える。
第13回	非行の子どもたちへの支援2	事前学習	テキスト第3章の pp. 101~107 の事例をよく読み、アセスメントシートを作成してみる。
		事後学習	p. 107 の「支援の振り返り」を考える。
第14回	実習校への事前訪問	事前学習	実習校の概要を調べ、まとめる。
		事後学習	事前訪問でわかったことをまとめる。
第15回	まとめ(スクールソーシャルワークによる子どもたちへの支援について総合的に考える)	事前学習	テキストの事例を一つ取り上げ、熟読する。
		事後学習	選んだ事例の「支援の振り返り」を考える。
期末試験			